

NEWS RELEASE

平成22年11月29日

国土交通省中部地方整備局

1. 件名： 平成22年度 補正予算に関する
中部地方整備局事業の概要について
2. 概要： 平成22年度 補正予算に関する中部地方整備局関係事業の概要についてお知らせ
します。
3. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ
名古屋港記者クラブ
4. 問合せ先： 国土交通省 中部地方整備局

< 総括 >	企画課長	荒川 泰二	電話	052-953-8127
	会計課長	中田 修一	電話	052-953-8135
< 都市・住宅関係 >	都市整備課長	尾上 佑介	電話	052-953-8573
	住宅整備課長	宮森 剛	電話	052-953-8574
< 河川関係 >	河川計画課長	井樋 世一郎	電話	052-953-8148
< 道路関係 >	道路計画課長	梅村 幸一郎	電話	052-953-8168
< 港湾関係 >	港湾計画課長	清水 崇	電話	052-651-6463
< 海岸関係 >	河川計画課長	井樋 世一郎	電話	052-953-8148
	港湾計画課長	清水 崇	電話	052-651-6463

平成 22 年度 補正予算 に関する 中部地方整備局事業の概要



平成 22 年 11 月

国土交通省中部地方整備局

平成 22 年度 補正予算に関する 中部地方整備局事業の概要

目 次

1. 平成 22 年度 補正予算の概要 P. 1
2. 中部地方整備局関係予算の配分額一覧 P. 2
3. 主な直轄事業（位置図） P. 3
4. 県別の主な直轄事業一覧 P. 4
5. 主な直轄事業（個表） P. 6

1. 平成 22 年度 補正予算の概要

1. 概要

平成 22 年 10 月に取りまとめられた「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」に基づく補正予算については、地域活性化及び社会資本整備を推進するため、所要の一般公共事業費予算及び公共事業の契約の前倒しとしての国庫債務負担行為（ゼロ国債）が計上されたところです。

中部地方整備局においては、以下の配分がなされました。

2. 中部地方整備局関係予算の配分額

地域活性化及び社会資本整備	7 2 5 億円
直轄事業	3 3 9 億円
補助事業等	3 8 6 億円
公共事業の契約の前倒し（ゼロ国債）	1 6 8 億円
直轄事業	1 5 7 億円
補助事業等	1 1 億円

2. 中部地方整備局関係予算の配分額一覧

(1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区 分	既配分額 (A)	補正予算		合計 (A+B)
		歳出 (B)	ゼロ国債 (C)	
治 水	52,375	4,914	4,597	57,289
海 岸	4,333	100	0	4,433
道 路	188,359	28,324	10,206	216,683
港 湾	15,450	570	420	16,020
都 市 水 環 境 備	1,651	0	330	1,651
国 営 公 園 等	2,492	0	115	2,492
官 庁 営 繕	632	0	0	632
合 計	265,292	33,908	15,668	299,200

(注1)数字は、事業費ベース（業務取扱費を除く）。

(2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区 分	既配分額 (A)	補正予算		合計 (A+B)
		歳出 (B)	ゼロ国債 (C)	
治 水	15,453	0	30	15,453
海 岸	0	0	0	0
道 路	17,974	848	1,110	18,822
港 湾	3,961	100	0	4,061
住 宅 対 策	9,353	0	0	9,353
市 街 地 整 備	3,277	0	0	3,277
都 市 水 環 境 備	84	0	0	84
下 水 道	20,358	0	0	20,358
国 営 公 園 等	1,105	0	0	1,105
小 計	71,565	948	1,140	72,513
社会資本総合整備	452,204	37,621	0	489,825
合 計	523,769	38,569	1,140	562,338

(注2)数字は、事業費ベース。

(3) 補助事業等の県別配分額

(単位:百万円)

区 分	既配分額 (A)			補正予算						合計 (A+B)		
				歳出 (B)			ゼロ国債 (C)					
	補助	交付金	計	補助	交付金	計	補助	交付金	計	補助	交付金	計
岐 阜 県	13,246	75,841	89,087	228	5,575	5,803	110	0	110	13,474	81,416	94,890
静 岡 県	14,146	115,615	129,761	620	9,281	9,901	30	0	30	14,766	124,896	139,662
愛 知 県	38,172	207,909	246,081	100	17,705	17,805	0	0	0	38,272	225,614	263,886
三 重 県	6,001	52,839	58,840	0	5,060	5,060	1,000	0	1,000	6,001	57,899	63,900
合 計	71,565	452,204	523,769	948	37,621	38,569	1,140	0	1,140	72,513	489,825	562,338

(注3)数字は、事業費ベース。

(注4)計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と一致しない場合がある。

(注5)「ゼロ国債」とは、国庫債務負担行為で本年度の歳出額がゼロのものをいう。

(注6)「既配分額」とは、平成22年度当初予算、社会資本整備総合交付金の追加配分、平成22年度経済危機対応・地域活性化予備費を含んでいる。

4. 県別の主な直轄事業一覧

【岐阜県内で実施する主な直轄事業】

	事業名	配分額 (歳出)	個表 番号
治水 関係	◆木曾川上流松原地区河川改修事業 <small>きそがわ まつばら</small>	2.8億円	
	◆木曾川上流牧地区河川改修事業 <small>きそがわ まき</small>	2.5億円	
	H22完成予定 ◆笠原川床固工群(庄内川) <small>かさはらがわとこがためこうぐんしょうないがわ</small>	1.3億円	1
道路 関係	◆国道475号東海環状自動車道 <small>とうかい</small>	27.0億円	2
	◆国道41号高山国府バイパス <small>たかやまこくふ</small>	1.6億円	
	◆国道19号恵中拡幅(延伸) <small>けいちゆう</small>	1.2億円	

【静岡県内で実施する主な直轄事業】

	事業名	配分額 (歳出)	個表 番号
治水 関係	◆狩野川南江間地区河川改修事業 <small>かのがわ みなみえま</small>	2.5億円	
	◆大谷山腹工(安倍川) <small>おおやさんぶくこう あべかわ</small>	1.0億円	
	◆栗ノ木遊砂地工(富士山) <small>くり きゆうさちこう ふじさん</small>	1.5億円	3
道路 関係	H22,H23 一部供用予定 ◆伊豆縦貫自動車道 国道1号東駿河湾環状道路 <small>い ず ひがし するがわん</small>	13.1億円	4
	H23 一部供用予定 ◆三遠南信自動車道 国道474号佐久間道路・三遠道路 <small>さんえんなんしん さくま さんえん</small>	12.5億円	5
	H23 一部供用予定 ◆国道1号 静清バイパス <small>せいしん</small>	6.6億円	6
海岸 関係	◆駿河海岸高潮対策事業 <small>するが たかしお</small>	1.0億円	7

【愛知県内で実施する主な直轄事業】

	事業名	配分額 (歳出)	個表 番号
治水 関係	◆庄内川志段味地区河川改修事業 <small>しょうないがわ しだみ</small>	1.2億円	
	◆庄内川打出地区河川改修事業 <small>しょうないがわ うちで</small>	0.5億円	8
	◆木曾川下流森川地区河川改修事業 <small>きそがわ もりかわ</small>	5.7億円	
道路 関係	H23 一部供用予定 ◆三遠南信自動車道 国道474号佐久間道路・三遠道路 <small>さんえんなんしん さくま さんえん</small>	2.1億円	5
	H22 一部供用予定 ◆国道302号名古屋環状2号線 <small>なごや</small>	17.8億円	9
	H23,H24 一部供用予定 ◆国道23号名豊道路 <small>めいほう</small>	19.6億円	10
	◆国道153号陣中町交差点改良事業 <small>じんなかちよう</small>	1.5億円	
港湾 関係	◆名古屋港鍋田ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業 <small>なごやこうなべた とう</small>	2.7億円	11
	◆衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業 <small>きぬうらこうたけとよきた とう</small>	3.0億円	

※配分額:事業費ベース(業務取扱費を除く)

【三重県内で実施する主な直轄事業】

	事業名	配分額 (歳出)	個表 番号
治水 関係	◆木曾川下流深谷地区河川改修事業 <small>きそがわ ふかや</small>	4.2億円	
	◆木曾川下流肱江地区河川改修事業 <small>きそがわ ひじえ</small>	2.6億円	
	H22完成予定 ◆鈴鹿川采女地区河川改修事業 <small>すずかがわ うねめ</small>	0.8億円	
	H22完成予定 ◆雲出川左岸高潮地区河川改修事業 <small>くもづがわ さがんだかしお</small>	0.6億円	12
道路 関係	H23 一部供用予定 ◆近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島) <small>きんき きせい おわせきた きいながしま</small>	30.4億円	13
	H23 一部供用予定 ◆国道23号中勢道路 <small>ちゅうせい</small>	44.3億円	
	H22 一部供用予定 ◆国道1号北勢バイパス <small>ほくせい</small>	1.0億円	
	H23 一部供用予定 ◆国道42号大泊登坂車線事業 <small>おおどまり</small>	4.8億円	14

【長野県内で実施する主な直轄事業】

	事業名	配分額 (歳出)	個表 番号
治水 関係	H22完成予定 ◆天竜川上流市の沢地区河川改修事業 <small>てんりゅうがわ いち さわ</small>	1.7億円	15
	◆杉島第1床固工(天竜川) <small>すぎしま とこがためこうてんりゅうがわ</small>	1.0億円	
	◆戸草溪流保全工(天竜川) <small>とくさ てんりゅうがわ</small>	1.0億円	
	◆梨原斜面对策工(天竜川) <small>なしはら てんりゅうがわ</small>	1.0億円	
道路 関係	◆三遠南信自動車道 国道474号飯喬道路 <small>さんえんなんしん いいざか</small>	14.0億円	16
	H23完成予定 ◆島の平下線交差点改良事業 <small>しま だいらしたせん</small>	0.8億円	

※配分額:事業費ベース(業務取扱費を除く)

庄内川水系庄内川 直轄砂防事業 (笠原川床固工群)

かさはらがわとこがためこうぐん

補正予算配分額（歳出）：1.3億円

1. 事業の概要

笠原川上流部は、河床勾配が急峻であり、脆弱で不安定な地質であることから、上流域からの土砂流出に加え、溪岸の浸食が著しい状況にあります。沿川には地場産業である窯業関連の施設が密集していることから、笠原川床固工群を早期完成し土砂災害から保全するものです。

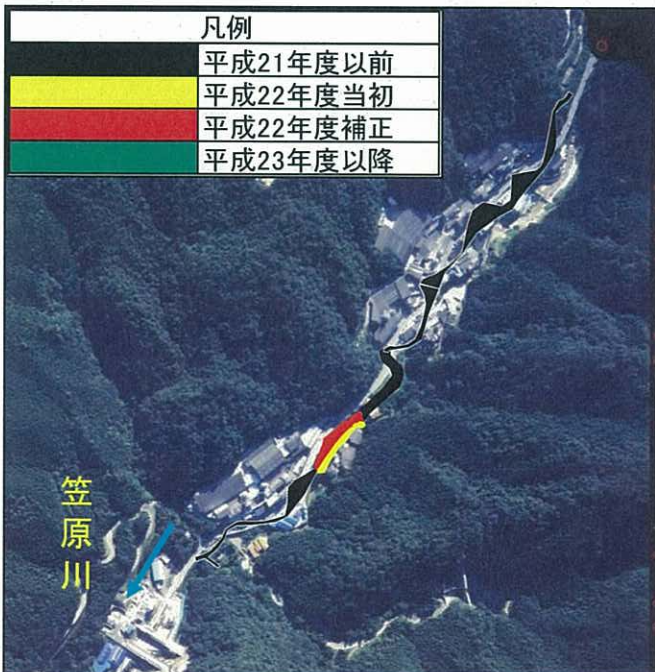


2. 補正予算による事業内容

溪流保全工（L=160m）等 【H22年度完成予定】

3. 補正予算により期待される整備効果

補正予算を投入することにより、床固工群を早期完成させ、床固工群の効果を一連として発揮させることができます。



国道475号 東海環状自動車道

補正予算配分額（歳出）： 27.0億円

1. 事業の概要

国道475号東海環状自動車道は、名古屋市中心に半径30～40km圏に位置する豊田・瀬戸・岐阜・四日市等の諸都市を相互に連絡し、新東名・名神等と一体となって、名古屋圏の環状道路を形成する延長約160kmの一般国道の自動車専用道路です。



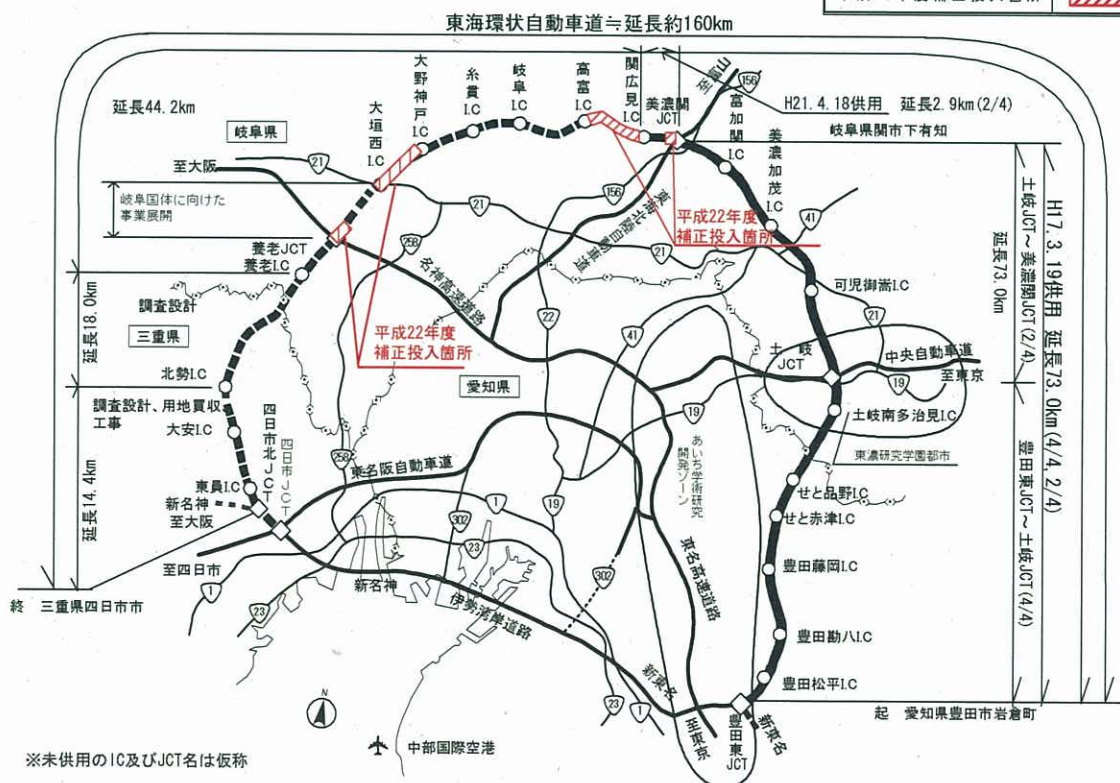
2. 補正予算による事業内容

- 美濃関JCT～関広見IC (L=2.9km)
 - ・橋梁上部工
- 関広見IC～養老IC (L=44.2km)
 - ・橋梁下部工、用地買収

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、美濃関JCT上部工事、養老JCT橋梁下部工事、大垣西IC橋梁下部工事、用地買収を推進し、事業を促進することで、早期に渋滞対策など交通円滑化の推進を図ります。

凡	例
供用中	■■■■■■■■■■
事業中	■■■■■■■■■■
平成22年度補正投入箇所	■■■■■■■■■■



※未供用のIC及びJCT名は仮称

富士山 直轄砂防事業 (栗ノ木遊砂土工) くりのきゆうさちこう

補正予算配分額（歳出）：1.5億円

1. 事業の概要

富士山南西野溪では、土石流により流出した土砂が、その後2次移動して下流に堆積し、河床上昇をもたらして氾濫することがあります。猪の窪川流域では土砂の移動実績があり本川及び支川を含めて多くの堰堤工が整備されていますが、堰堤工はその多くが満砂状態となっています。

本事業は栗ノ木沢の整備に着手し、流域全体の安全性向上を図るものです。

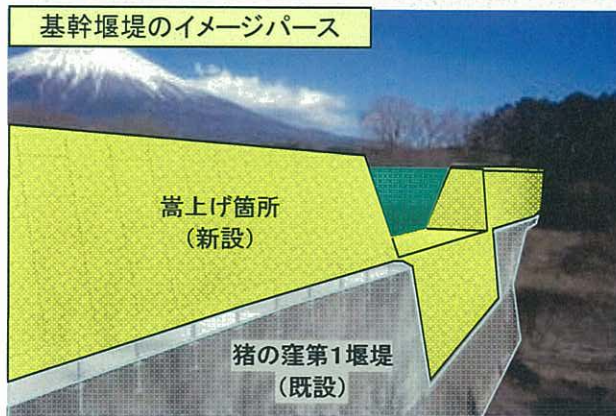


2. 補正予算による事業内容

護岸工

3. 補正予算により期待される整備効果

補正予算により、土石流対策の安全度を早期に向上させることができます。



凡例	
黒	平成21年度以前
黄	平成22年度当初
赤	平成22年度補正
緑	平成23年度以降

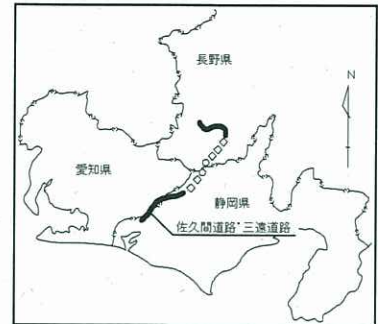
事業箇所：静岡県、愛知県 【事業主体：国】

三遠南信自動車道 国道474号 佐久間道路・三遠道路

補正予算配分類（歳出）： 14.6億円

1. 事業の概要

一般国道474号佐久間道路・三遠道路は、高規格幹線道路「三遠南信自動車道」の一部を構成し、愛知県奥三河地域及び静岡県北遠地域への高速交通サービスの提供、沿線の地域開発及び地域交流の支援等を目的とする道路です。

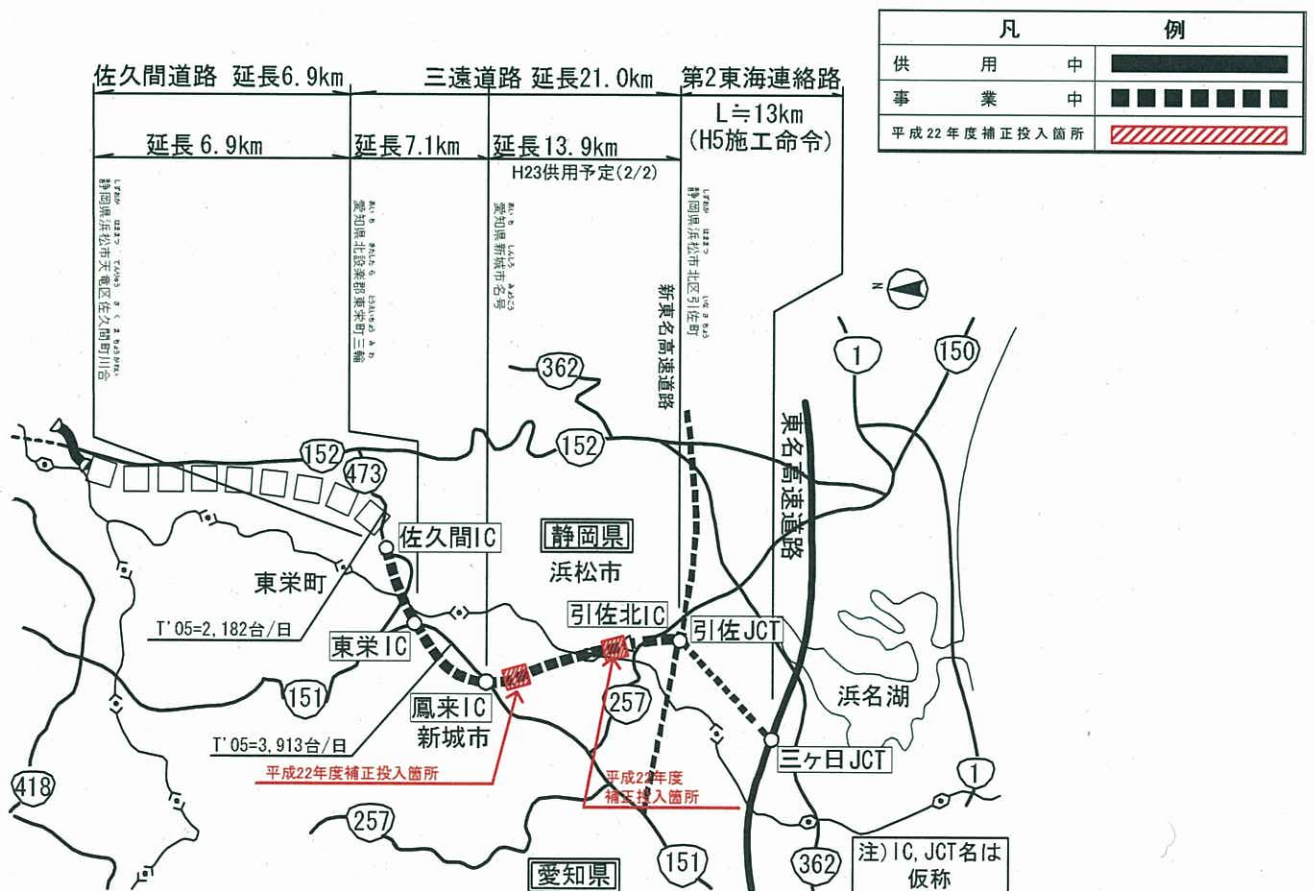


2. 補正予算による事業内容

- 三遠道路（新城市名号～浜松市北区引佐町）（L=13.9km、2/2）【H23年度供用予定】・改良工

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、別所地区及び大島地区改良工事を推進し、事業を促進することで、平成23年度の供用を確実にし、国土ミッシングリンクの解消を図ります。



するが
駿河海岸高潮対策事業

補正予算配分額（歳出）： 1.0億円

1. 事業の概要

駿河海岸は、日本で最も深い駿河湾の西に位置し、背後地は大井川河口デルタ地帯として広がる平野に住宅や工場等が集積しています。

近年、大井川からの供給土砂量の減少や大井川港等による沿岸漂砂の遮断等により海岸侵食が顕著となっていることから、背後地の安全を確保するため、昭和62年より全国に先駆けて有脚式離岸堤等の海岸保全施設整備を実施しています。



2. 補正予算による事業内容

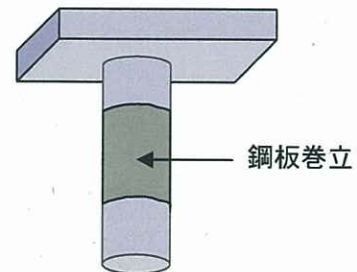
有脚式離岸堤補強1式

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、有脚式離岸堤の一部機能の低下した施設において、海岸保全施設の機能強化を行うことにより、背後地の越波被害の軽減を図ります。



対策イメージ



凡例	
黒	平成21年度以前
黄	平成22年度当初
赤	平成22年度補正
緑	平成23年度以降

庄内川打出地区河川改修事業

補正予算配分額（歳出）：0.5億円

1. 事業の必要性及び概要

庄内川下流部は名古屋市街地を流下し資産・人口が集中しています。また、我が国最大規模の海拔ゼロメートル地帯で災害ポテンシャルが高い。打出地区は、被災履歴があり、裏法すべりの安全性が特に低く、ひとたび決壊等の重大災害が起これば、名古屋駅を含む名古屋市の広い範囲で家屋浸水が発生し、甚大な被害となります。

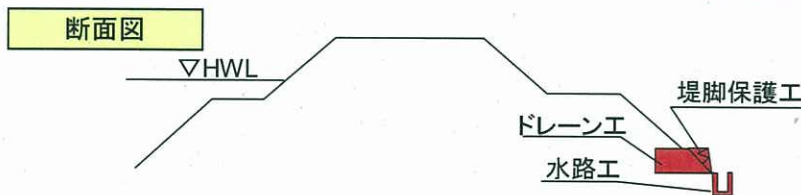
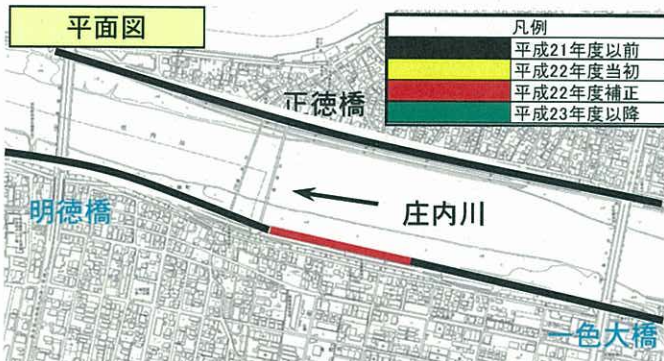


2. 補正予算による事業内容

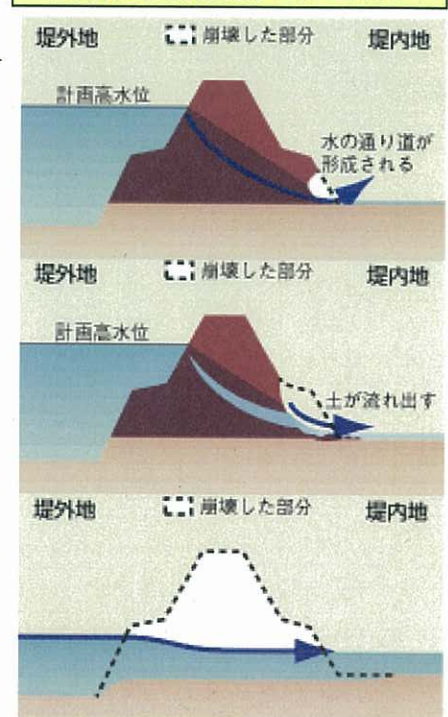
堤防強化（L=300m）

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、堤防強化を実施することにより、浸水被害の軽減を図ることができます。



浸透による破堤のメカニズム



事業箇所：愛知県 【事業主体：国】

なごや
国道302号 名古屋環状2号線

補正予算配分額（歳出）： 17.8億円

1. 事業の概要

なごや
名古屋市街部の外縁を形成する総延長約66kmの環状道路で、市内から放射状に伸びる幹線道路やなごや名古屋高速道路と主要地点で連絡し、都市内の渋滞を緩和することなどを目的に計画された幹線道路であり、自動車専用道路と一般道路（国道302号）の複断面により構成される道路です。



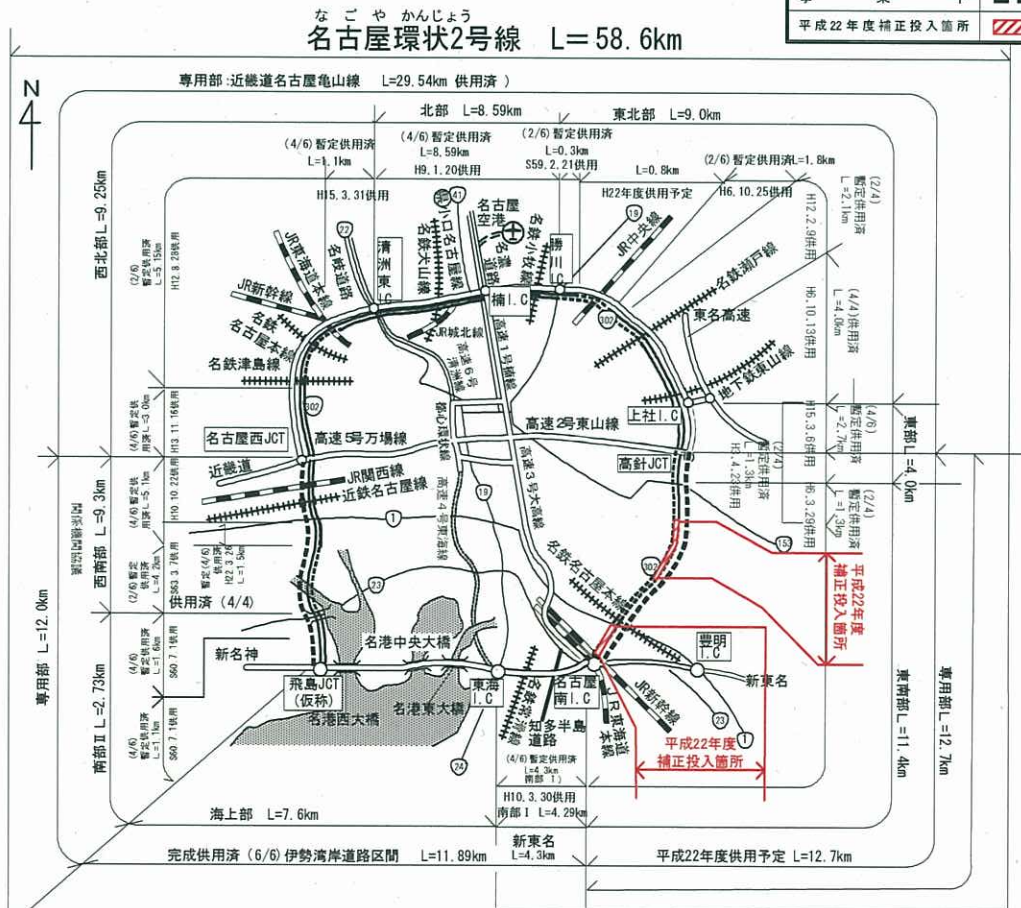
2. 補正予算による事業内容

- 高針JCT～名古屋南IC（L=12.7km、2/4、4/4）【東部・東南部】【H22年度供用予定】
・改良舗装工

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、ひらばり おおだか
今回の補正予算により、平針・大高地区改良舗装工事を推進し事業を促進することで、早期に渋滞ポイントを解消するとともに、渋滞対策など交通円滑化の推進を図ります。

凡	例
供 用 中	
事 業 中	
平成22年度補正投入箇所	



めいほう
国道23号 名豊道路

補正予算配分額（歳出）： 19.6億円

1. 事業の概要

国道23号名豊道路は、名古屋市と豊橋市を結ぶ知立バイパス、岡崎バイパス、蒲郡バイパス、豊橋バイパス、豊橋東バイパスの5つのバイパスで構成され、国道1号及び23号の交通混雑の緩和と通過交通の円滑化を目的に計画された8市1町を通過する延長73kmの地域高規格道路です。

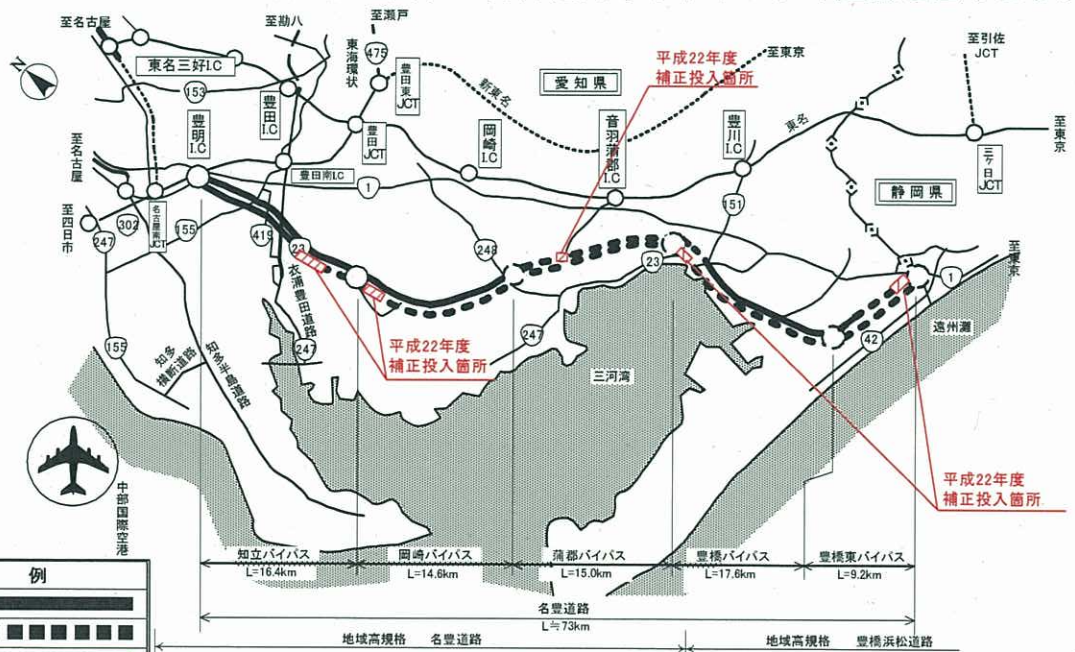


2. 補正予算による事業内容

- 【豊橋東バイパス】 ○東細谷IC～七根IC間 (L=6.9km、2/4) 【H23年度供用予定】
・改良工
- 【豊橋バイパス】 ○前芝IC～東三河IC間 (L=4.2km、2/4) 【H23年度供用予定】
・改良工
- 【蒲郡バイパス】 ○蒲郡IC～幸田芦谷IC間 (L=5.9km、2/4) 【H24年度供用予定】
・橋梁下部工
- 【岡崎バイパス】 ○幸田芦谷IC～安城西尾IC (L=14.6km、4/4)
・橋梁上部工
- 【知立バイパス】 ○安城西尾IC～高棚北IC 4車立体 (L=6.4km、4/4)
・舗装工 【H24年度供用予定】

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、御津地区改良工事、高棚地区舗装工事等を推進し事業を促進することで供用を確実にし、地域連携に資する幹線道路ネットワークの整備を図ります。



凡	例
供用中	■
事業中	■
平成22年度補正投入箇所	▨

個表-11

事業箇所：愛知県 【事業主体：国】

名古屋港^{なべた}鍋田ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業

補正予算配分額（歳出）： 2.7億円

1. 事業の概要

名古屋港におけるコンテナターミナルの逼迫状況を緩和し、飛島ふ頭と一体となって名古屋港全体の取扱能力を高め、コスト・サービス水準の目標を達成するため、鍋田ふ頭地区において、水深12mの国際海上コンテナターミナルの整備を推進します。



2. 補正予算による事業内容

岸壁（水深12m）（耐震）

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、岸壁（耐震）の整備が推進されます。



個表－12

事業箇所：三重県 【事業主体：国】

くもづがわ
雲出川左岸高潮地区河川改修事業

補正予算配分額（歳出）： 0.6億円

1. 事業の概要

雲出川の高潮堤防については、昭和34年の伊勢湾台風による甚大な被害を契機に整備しています。築堤後50年近くが経過し老朽化が著しいとともに、計画堤防に対し高さ及び断面が不足しています。ひとたび決壊や高潮などの重大災害が起これば、家屋浸水が発生し、甚大な被害となります。

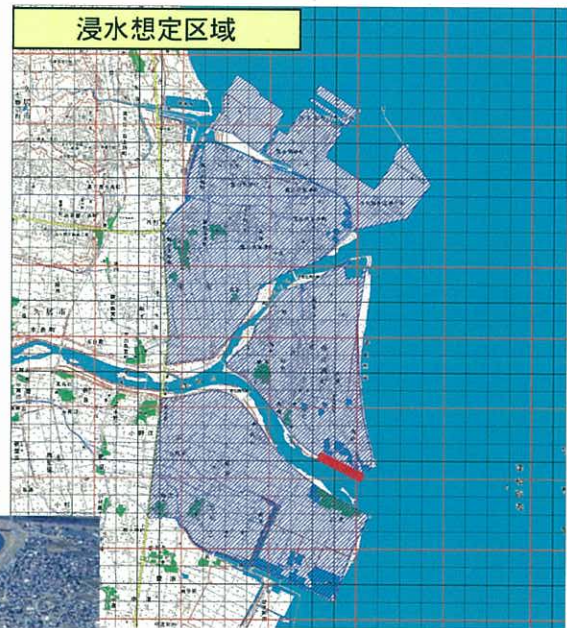


2. 補正予算による事業内容

高潮堤防 (L=100m) 等 【H22年度完成予定】

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算で、高潮堤防を整備することにより、雲出川左岸側が完成し、浸水被害の軽減を図ることができます。



近畿自動車道紀勢線 (尾鷲北～紀伊長島)

補正予算配分額（歳出）： 30.4億円

1. 事業の概要

近畿自動車道紀勢線は、大阪府松原市を起点とし、和歌山県を經由して三重県多気郡多気町に至る約340kmの高速自動車国道です。

そのうち、尾鷲北IC（仮称）～紀伊長島IC（仮称）間の延長21.2kmについては、平成8年12月に整備計画が決定され、平成15年12月の国幹会議において直轄による整備が位置づけられた区間です。



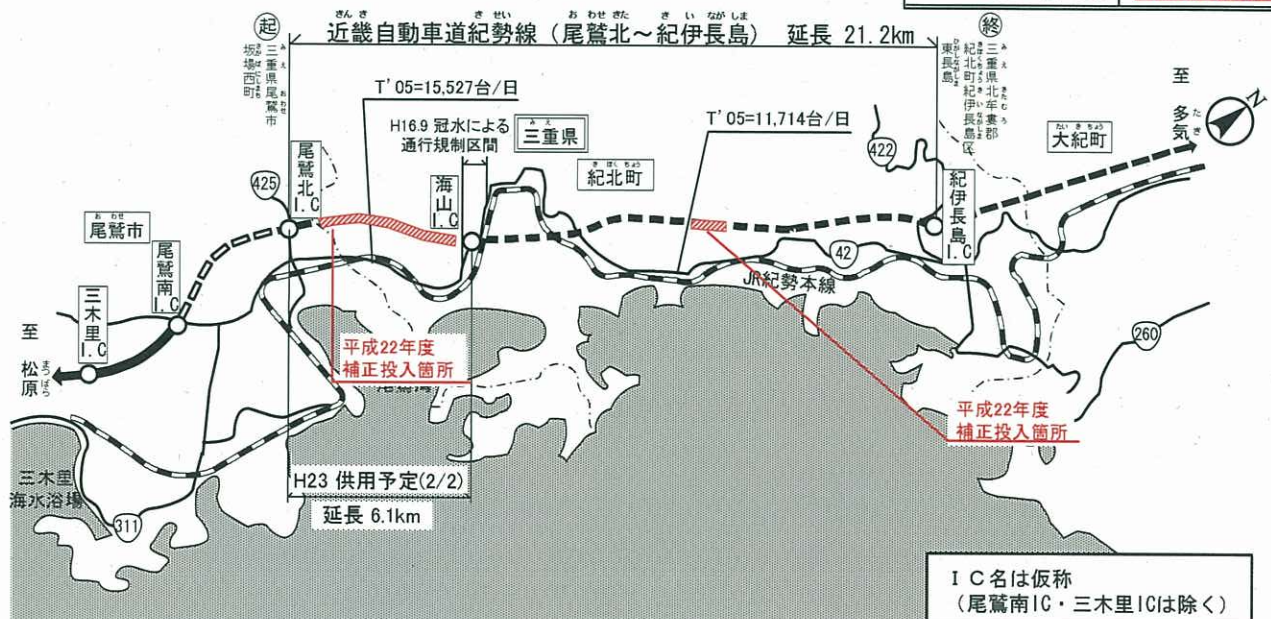
2. 補正予算による事業内容

- 海山IC～紀伊長島IC間 (L=15.1km、2/2)
 - ・トンネル工
- 尾鷲北IC～海山IC間 (L=6.1km、2/2) 【H23年度供用予定】
 - ・トンネル設備工

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、高丸山・馬越トンネル設備工事を推進し、事業を促進することで、平成23年度の供用を確実にするとともに、道瀬トンネル工事等を推進し、事業を促進することで、国土ミッシングリンクの解消を図ります。

凡		例
供	用	中
事	業	中
平成22年度補正投入箇所		



IC名は仮称 (尾鷲南IC・三木里ICは除く)

国道42号 ^{おおどまり} 大泊登坂車線事業

補正予算配分額（歳出）：4.8億円

1. 事業の概要

^{みえ} 三重県熊野市 ^{くまの} 大泊町における、国道42号の当該区間は平面・縦断の線形が急なことから低速走行する大型車に起因した混雑が発生し、追い越し車両が原因と見られる事故が多発しています。

当該区間には登坂車線が2箇所設置されているものの、延長が短く十分な効果が発揮されていないことから、既設の登坂車線を連続させる形状に整備し、十分な追い越し車線長を確保することで交通事故削減と交通の円滑化を図るものです。

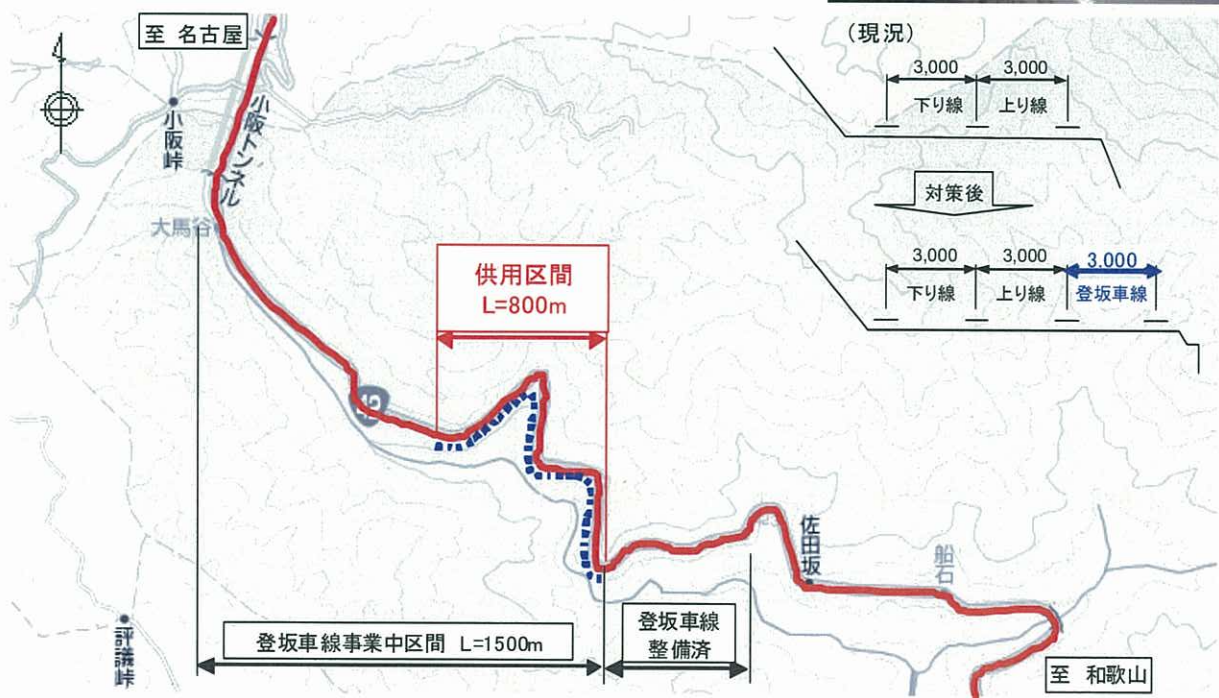
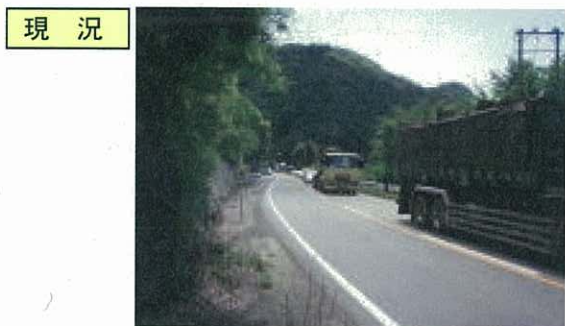


2. 補正予算による事業内容

舗装工（L=800m）

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、熊野市 ^{くまの} 大泊町 ^{おおどまり} の登坂車線事業区間（L=1500m）のうち L=800mの舗装工を実施し、早期に供用させることで交通事故削減と交通の円滑化を図ります。



いちのさわ
天竜川上流市の沢地区河川改修事業

補正予算配分額（歳出）： 1.7億円

1. 事業の概要

天竜川上流域は、風化しやすい花崗岩が広範囲に分布する重
 荒廃地域で、河床勾配1/200程度の「急流河川」であるため、
 洪水時には大量の水と土石が流れ出します。

平成18年7月洪水では、河岸洗掘により堤防が決壊。17
 箇所で護岸や根固工が洗い出され損壊しました。そのため、特
 に、現況基礎高の高い、浸食による被害が発生しやすい箇所に
 対策を実施することで、早期の堤防強化を図ります。

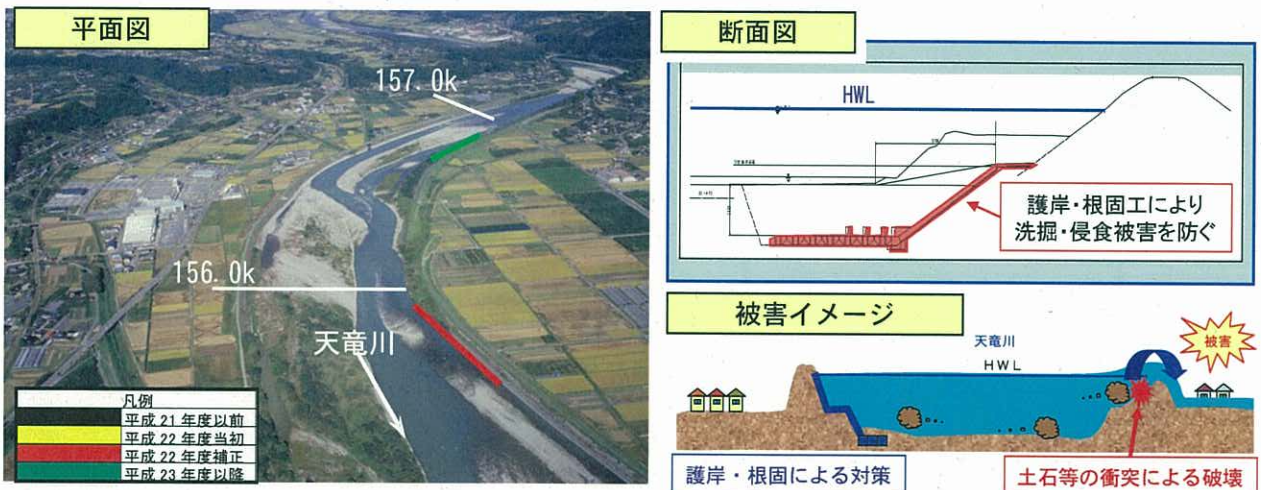


2. 補正予算による事業内容

護岸根固め工(L=300m) 等 【H22 年度完成予定】

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、護岸根固工を実施することにより、浸
 水被害の軽減を図ることができます。



平成18年7月洪水



位置図



さんえんなんしん **三遠南信自動車道** 国道474号 **飯橋道路** いいだか

補正予算配分類（歳出）： 14.0億円

1. 事業の必要性及び概要

国道474号飯橋道路は、高規格幹線道路「三遠南信自動車道」の一部を構成し、長野県南信地域への高速交通サービスの提供、主要観光地へのアクセス強化、国道256号の通行不能区間の解消等を目的に計画された飯田市山本から下伊那郡喬木村氏乗に至る延長22.1kmの一般国道の自動車専用道路です。



2. 補正予算による事業内容

- 飯田市川路～飯田市上久堅 (L=7.4km)
 - ・橋梁下部工

3. 補正予算により期待される整備効果

今回の補正予算により、龍江地区橋梁下部工事を推進し、事業を促進することで、国土ミッシングリンクの解消を図ります。

凡	例
供 用 中	
事 業 中	
平成22年度補正投入箇所	

